

この度は、第 38 回日本脊椎脊髄病学会奨励賞(大正 Award)臨床部門にご選出いただき、誠に光栄に存じます。

本研究は、日本リハビリテーションデータベースに登録された脊髄損傷患者 3,703 例のデータを用いて、入院時情報から退院時の ASIA Impairment Scale を予測する機械学習モデルを構築し、さらに臨床現場での利用を想定した Web アプリケーションとして実装したものです。脊髄損傷後の神経学的予後を早期に見通すことは、リハビリテーション計画の立案、患者さん・ご家族への説明、医療資源の適切な配分において重要です。本研究が、脊髄損傷後の神経学的予後を考えるうえでの一つの参考となり、将来的にリハビリテーション計画や患者さん・ご家族への説明の一助となることを期待しております。

本研究は、私一人の力で成し得たものではなく、多くの先生方のご指導とご支援の賜物です。日頃よりご指導いただいております千葉大学整形外科および千葉大学脊椎グループの先生方、ならびに研究の遂行にあたり直接ご指導いただきました牧聡先生に心より御礼申し上げます。

この度の受賞を励みに、今後も臨床に根ざした研究を継続し、脊椎脊髄疾患診療の発展に貢献できるよう精進してまいります。

北川 恭太